

## 取組実践校：佐伯市立直川中学校(生徒数25名 3学級)

### 「生徒が主体的に創る高齢者とのつながり～継続的なふれあい交流会の実施を通して～」

- ①総合的な学習の時間を活用して高齢者との「ふれあい交流会」を生徒が主体的に企画・運営する。
- ②学校運営協議会(CS)や地域の関係機関と連携しながら継続的に実施している。

学校の教育目標：ふるさとを愛し、夢をもって未来へ踏み出す力を持った生徒の育成

翌年の取組は現2年生  
が中心となって行う。

#### 2月 学校運営協議会(CS)

ふれあい交流会の総括を報告し、次年度  
に向けての意見を集約

#### 12月 振り返り

たてわり班ごとに「集客方法・準備・活動内  
容・運営」の視点で振り返り、次年度への  
申し送り事項を確認

#### 11月 まとめ

成果と課題につ  
いて文化祭で保  
護者や地域の  
方々に発信



#### 6月初旬 企画

##### たてわり班ごとにテーマを検討

- A班：地域の方が活躍する場を作ろう
- B班：幅広い世代で楽しもう
- C班：お年寄りの方の力を引き出せる交流  
会にするためには  
※教員はファシリテートに徹する。

#### 6月下旬 広報①

社会福祉協議会  
の方に向けて交流会  
の内容をプレゼン



#### 7月 広報②

振興局、郵便局等  
にポスター掲示を  
依頼  
ことぶき大学(高齢  
者学級)に講演を  
依頼



#### ふれあい交流会

9月26日、10月1日、8日開催



- A班：戦争体験の講演
- B班：小学生との交流
- C班：今と昔の直川クイズ  
※参加者の声をアンケート  
からフィードバック

#### 9月 学校運営協議会(CS)

3年生が学校運  
営協議会でCS委  
員に交流会参加  
の呼びかけ



- ポイント①企画・広報・依頼等を生徒に任せることで、生徒の積極性・主体性を引き出している。  
②丁寧なまとめと振り返り、CS等の活用により年度を跨いだ継続的な取組になっている。

